



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

THE Y'S MEN'S CLUB OF K O B E

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

CHARTERED FEBRUARY 17 · 1930



- ブラザークラブ：高雄（台湾） チェンマイ（タイ） 米子（西日本区）
 国際会長主題：世を照らす光となろうー恵みを愛もて分かち合おう
 アジア会長主題：歳月はY'sをワイズ（賢者）にするー行動が活力を呼び覚ます
 西日本区理事主題：先頭に立ってワイズの光を輝かそう、クラブで、地域で、国際社会で
 六甲部部長主題：柔軟な創造で愚直に積極的なワイズライフを楽しもう
 クラブ会長主題：クラブの伝統を踏まえ、クラブの新しい「顔」を作るべく、
 それぞれの役割を楽しもう

2012年8月

Youth Activities強調月間

今月の聖句

「主が支えてくださるゆえに、わたしは伏して眠り、また目を覚ます」

旧約聖書詩編3編5節

8月14日第1例会

開会点鐘 午後6時30分 進藤啓介 会長

ドライバー 鵜丹谷 剛メン

ワイズソング

聖句朗読・開会祈禱

[プログラム]

六甲部 EMC 研修会

①講演 西日本区 EMC 事業主任 米村謙一氏

②グループディスカッション

報告および事務連絡など

ハッピーバースデー

閉会点鐘 午後9時00分 進藤啓介 会長

8月誕生日おめでとう

8日 尾上 尚司

16日 京極 美栄子

21日 長沢 百合子

24日 進藤 和子

7月在籍者

7月出席者

7月出席率

21名	メン 14名	67%
広義会員	メネット 10名	(含メイキャップ)
0名	コメット 0名	前月出席率
合計 21名	ゲスト 4名	67%
	合計 28名	

7月分BFポイント

切手 0円 現金 0円

本年度累計

切手 0円 現金 0円

8月28日(火)第2例会 19:00~

◎年間計画の詳細について

◎各事業計画について

◎その他、協議事項、事務連絡など

第2例会でも、重要な議題を協議し決めてゆきます。都合をつけて出席をお願いします。

会長 進藤啓介

副会長 尾上尚司

会計 森 章一

書記 山本亮司

連絡主事 山本亮司

口座番号 三井住友銀行三宮支店 普通預金No. 1494643 名義人 神戸ワイズメンズクラブ 会計 橋本正晴

例会：第1例会 毎月第2火曜日 18:30 第2例会 毎月第4火曜日 19:00

会長メッセージ

『コツコツと』

会長 進藤 啓介

神戸クラブは、7月後半にFNH12（葺合・灘・東灘区に連なる12の教会）が主催する『ふくしま・神戸子供プログラム』を後援させていただきました。私も事前の企画会議にすべて参加させていただいたわけですが、約1週間の予定で、福島の家族を神戸に迎え、「親子共々ユックリ遊んでいただこう」との思いから12の教会が企画した保養プログラムが行われました。参加者は6家族19人、小学校低学年から2～3歳の兄弟姉妹で、ホームステイ、甲山自然環境センター、プール、動物園、水族園、神戸水堂筋商店街のお祭り、バーベキュー、六甲山散歩、等々に参加していただき、福島にはない、また今の福島ではできないかもしれないプログラムで皆さんに遊んでいただきました。

又、福島の子供はなかなか外で遊べないといった事もありますが、御母さんのストレスも「尋常でない」とのアドバイスから お母さんのフリータイムを1日作るなど工夫を重ねるなど、他にはないプログラムだったと思います。聞いたとこ

ろ、福島招待プログラムはいろいろあるそうですが、小さな兄弟姉妹がそろって参加できる、また小さな子供が参加できるプログラムが全くないとのことでした。そういった環境の中ではこのプログラムはまさにニッチなニーズに応えたものだったと思います。神戸クラブからも歓迎パーティ、サヨナラパーティ等々に鶴丹谷さん、山口さんたちに出席していただき皆さんと遊んでいただきました。

子供たちも、御母さん方もほんとに〈ホッとした〉との思いを持って帰って頂いたと思います。最後の見送りの際、布引の滝から流れる清流で神戸の子供が遊んでいるのを見て、「いまはできないわね」とつぶやかれた一言が印象的でした。

神戸クラブは、今年、「地域奉仕」に小さな事からでも取り組んでいこうと思っています。こういう後援といった取り組みから、我々が主体となつての取り組みも含め、様々な可能性を探していきつつ、今後の歩く道を探したいと思います。

7月14日六甲部第1回評議会

7月14日、本山、「ブルーミンメドー」で、六甲部評議会が開かれました。

急逝された飯田義雄メンを偲びつつ、上野恭男六甲部長から所信表明がなされました。

神戸クラブからは、鶴丹谷剛直前会長がEMC事業主査として、また、進藤会長から、それぞれ、EMC活動の方針、神戸クラブ活動の方針が熱く語られました。

高橋昌明神戸大学名誉教授による興味深い講話、引き続いての、ガーデンパーティと、心地よい時間を過ごすことができました。

神戸クラブからは、評議会、納涼会合わせ、14名のメン、メネットが参加しました。



(上の写真は土橋氏提供)



＜今月の言葉に添えて＞

深和ホームの夕食の時間が早いのは入居者の事を配慮してのことである。はやく休まれる老人が多い。早寝早起きのモデルのようなものである。でも朝起きて昨晚も無事であったと喜んでいる人の顔は年老いても輝いている。何時も私たちの眠るのも、覚ますのも神様が支え導いていて下さるからだ。このことを忘れないようにしましょう。

(山根貞夫司祭@神愛修女会・深和ホーム)

7月キックオフ例会報告

鵜丹谷 剛

いよいよ新年度がスタートしました。7月度キックオフ例会は、通常月の例会よりも、毎年どこことなく緊張感が漂い、少し空気が引き締まった感じがします。私自身二年間の会長を終えて、ほっとしたというよりは、進藤会長の新体制のもと、更なるクラブ改善へ向け色々やることも多いなど思い新たな気持ちで一杯です。

さて、キックオフ例会は、六甲部公式訪問として、上野部長、柏原書記、桑野会計にお越し頂きました。故・飯田義雄ワイズの意志を受け継ぎ、上野部長より今期の部方針、各事業の抱負と共に、部長ご自身の思いを語って頂きました。其中で故・飯田ワイズが日頃の行動指針にもされていた『ハチドリのひとしずく』のお話を強く引き合いに出され、小さな事からでも始める事の大事さを改めて認識させられた次第です。

引き続き、進藤会長、長内メネット会長より所信表明のお言葉を頂戴しました。進藤会長は、私が会長時代の二年間も、副会長のお立場として獅子奮迅の働きで、随所で私をサポートして頂きました。その上で現在クラブが抱える課題も共有して頂き、今期は更なるブラッシュアップを目指し、高らかな目標を掲げられ、その思いも熱く語って頂きました。

又、長内メネット会長よりは、引き続きメンを支える立場としての抱負と共に早速9月度メネット例会の案内ご披露も頂き楽しみな次第です。また神戸メネットクラブ皆さんには、随所に、且つ、力強くワイズ活動をサポートして頂き大変感謝しております。

そして、今年のキックオフ例会のもう一つの目玉として、各事業の委員長皆さんより、事前

に作成頂いた方針活動を基に、今期の事業への抱負、思いを語って頂きました。進藤会長の会長主題に『それぞれの役割を楽しみながら（一部抜粋）』と掲げられ、クラブメンバー全員で、クラブを躍進させる事を方針として立てられています。その目標に向かい、各事業委員メンバーが会長をサポートし、自らのタスクを考え、行動する事は、クラブの大きなうねりとなり、充実したクラブライフに繋がっていくのだと信じています。

新しい取り組みが出来たという事のみならず、7月度キックオフ例会は意識高揚とした良い例会が持てたと思います。今年一年のワイズ活動が楽しみです。

クラブからのお知らせ

▼9月第1例会はメネットナイトです。すばらしいゲストをお招きしています。詳細は、本ブリテン裏表紙、メネット欄をご覧ください。

▼ジャガイモファンド

今年は、例年より1ヶ月早く、9月29日土曜日の配達となりました。収穫時期を勘案して、少しでもよい状態で皆さんにお届けできるようにとの配慮です。ご予約ください。

▼DBC交流会

米子クラブ15周年記念式典、瀬戸山陰部会に合わせて、DBC交流会を持ちたいと思います。

1日目

10月7日 9時30分頃出発、松江市内等観光のあと、皆生温泉着。

19時から21時、皆生温泉OUホテルにて米子クラブとの懇親会。同ホテル泊。

2日目

10月8日 瀬戸山陰部会参加

(於:YMCA米子医療福祉専門学校)

11時～12時15分

メネットアワー、EMCフォーラム。

それぞれの部会に別れて参加。

13時～17時

瀬戸山陰部会、懇親会参加。

17時米子発

▼その他の予定

9月 8日 六甲部会

10月21日 三宮YMCA国際バザー

11月 3日 チャリティラン

11月11日 世界YMCA、YWCA合同祈祷週

1月12日 新春YYフォーラム

など



Kobe Menettes

Declared March 10·1965

インドネシアへの旅

橋本 和子

7月4日早朝、尾上主事と共に私達は旅立った。今回はYMCAの語学、キャンプ各種教育事業の領域で協力をさぐる目的があった。私達の希望を受けて話し合いの場がマチュン大学シンタ学長（関西学院大学に留学生として来日したのが21年前です。我が家でのホームステイを通じて親子の絆ができました。現在、学長として活躍しています）によって設定された。二人の副学長、国際交流担当の責任者、学生プログラムの担当者、さらにシンガポール、オランダからの指導者と10数人が一堂に会した。尾上主事は資料を用意してYMの事業を紹介しつつ、「交流」の可能性を語った。自由で楽しくすすめられた話し合いから何かうまれる事が予感されて嬉しかった。9月29日にスマトラで、また30日にはジャカルタでJASSO、独立行政法人日本学生支援機構の用意する留学生フェアが行われる。そこには神戸YM

日本語科の責任者田村主事が出席すると写真もあわせて紹介し大学への訪問の可能性も語った。今回の私たちの大学訪問は節目に当たり色々な意味をあわせもつものとなった。



マチュン大学創立5周年の祝典、卒業式、さらに7階建てのドーム型の研究棟の落成式と各種行事が続いた。学長シンタは夫々の式辞、また挨拶で教育にむけての情熱を吐露された。卒業生に向けての言葉が残っている。「あなた達は神様の作品です。今日からは自分自身が担うタイトルに責任をもって変革の時代を生きてほしい。人間は間違いのないすぐれた生き物ではない。正しく生きる事を通して正しい人になる。それが大切である。神様の被造物として隣人のため、

地球を視野において生きてほしい。」

感激の涙にあふれる学生や家族の姿が大きなスクリーンに映り、外部の人間である私達の目頭をもあつくした。国際社会で活躍する指導者を輩出していく事だろう。

来年7月には11か国の生物光合成の領域を代表する学者を招いて国際会議を主催し、その中心で準備をすすめているのが30代の若者と聞いてこの国の未来を思った。感激の時を過ぎしインドネシア最後の夜を学長夫妻と共に静かに話しあった。スカルノ元大統領も宿泊し、砂糖で巨万の富を築いた実業家の美術品、調度品の溢れるTuGu Hotelで夕餉の時をもった。

別れを前にして言葉も重く寂しさを感じつつ実り多かった今回の旅に感謝をささげている。

9月11日（火）メネットアワー

ゲストスピーカー：志村正氏（日本画）

描き続けて45年・・・芸術で何ができるか

神戸クラブファン、ちりめん山椒パッケージの美しい絵の作者・志村正さんがゲストスピーカーです。皆様お誘い合わせの上お楽しみに。

志村正氏略歴

- 1949年 京都市に生まれる
 - 1975年 京都市立芸術大学 日本画専攻科修了
 - 1991年 奈良ふるさと切手「吉野の春」「吉野の秋」制作
 - 1997年 高台寺圓徳院襖絵「雪・月・花」制作
 - 2000年 郵政省の依頼で京都のふるさと切手、京の四季・丸山公園（春）鴨川（夏）嵐山（秋）北山（冬）を制作
 - 2001年 池坊月刊誌「華道」表紙絵12か月制作
お年玉付き年賀葉書、京の初春を制作
 - 2010年 京都市・フィレンツェ市姉妹都市提携45周年記念、
「御霊屋への径」高台寺よりフィレンツェ市に寄贈
- 現在 無所属 京都日本画家協会会員

